

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム ふるさと
日付	平成18年3月24日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

### 外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>田んぼや畑が近くにあって季節の流れが手に取るように良くわかる日当たりの良いホ-ムです。入居者は、比較的自分で出来る方が多いので居間に集まります。職員や入居者同士の話声が絶えることなく笑みがこぼれ、ときには涙もある、そんな生活がひしひしと伝わってきました。ホ-ム内は整理整頓され、清潔感があり、明るい雰囲気をかもし出しています。</p> <p>代表者や管理者からの押し付けでなく職員から意見がよく出ています。職員同士の関係も非常に良いようです。講演会や勉強会から介護のヒントを掴み、グループホーム的にアレンジすることで、ゆっくりとやさしく馴染むように取り入れています。</p> <p>食事のメニューも冷蔵庫の状態を見ながら毎日決めていきます。入居者の希望も良く聞いています。笠岡の島の方も入所されていますので、食材も新鮮な物を意識的に使うように気遣いしています。入居者にとっては、さらに身近になって和みやすい雰囲気を築いています。</p>
<p>改善の余地があると思われる点 (記述式)</p> <p>地域との交流は少しずつしているようですが、もう少し時間がかかりそうです。</p>

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 記述 回答	<p>グループホームとしてめざしているものは何か (記述式で回答)</p> <p>「寄り添う心、日々の感動、新たな気持ちで前向きに」を理念としています。職員は入居者を自分の家族と思いい、いっしょに暮らしているような気持ちで接することを心がけています。職員は常に入居者のそばにいて、少しでも良くなってもらいたいとの思いがあり、日々精進しています。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 記述 回答	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か (記述式で回答)</p> <p>入居者の性格などを十分に把握しています。お腹がいっぱいになると不穏になる入居者もいるので、外出に出たときは気をつけています。帰宅願望もある方も居るので、一緒に散歩や車で外を一回りします。また、家族に依頼して外泊や外出を一緒にしてもらっています。入居者と接する時間を多くとり、会話を重視しています。またお風呂も落ち着くらしいので人気があります。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 記述 回答	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か (記述式で回答)</p> <p>洗濯物をたたんでもらったり、食事の下ごしらえをしてもらったりして、生きがいを感じてもらっています。また、付き添いが必要な利用者に対しては、集中できるよう促しています。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 記述 回答	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>講演会や勉強会から得たヒントで、部屋を間違えるのを防止するため、居室に暖簾やプレートを表示を目線の位置に配慮したり、嚙下が困難な入居者には床に赤い線を引いたりして、生活が楽しくなるように取り入れています。入居者の中には男性が苦手な女性がいて、男性の職員は他のユニットに移動し、気にならないようにしています。他のユニットなどから男性が来るとおしゃれをしてくる喜び女性もいます。入居者一人ひとりに合わせた介護に努めています。</p>		